本提案における１人１台端末の活用（まとめ）

Ⅰ．学習形態　　□一斉学習　　■個別学習　　■協働学習

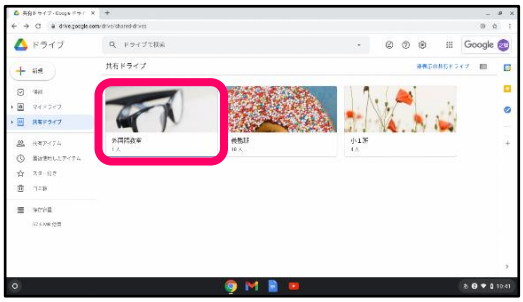
Ⅱ．利用するＩＣＴ　　■タブレット PC（□Windows　■Chromebook　□iPad）
□実物投影機　　□大型提示措置（大型モニター、プロジェクター）
□その他（　　）

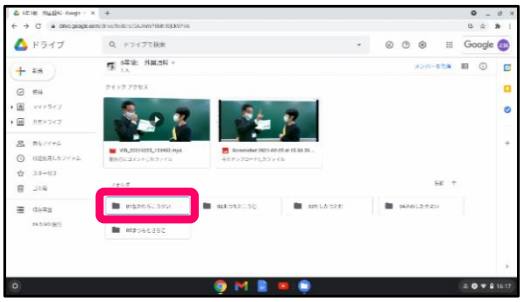
Ⅲ．利用するサービス　　・Google ドライブ

Ⅳ．場面によるメリット（一人一台端末活用のよさ）

(1)　【対話的な学びの促進】

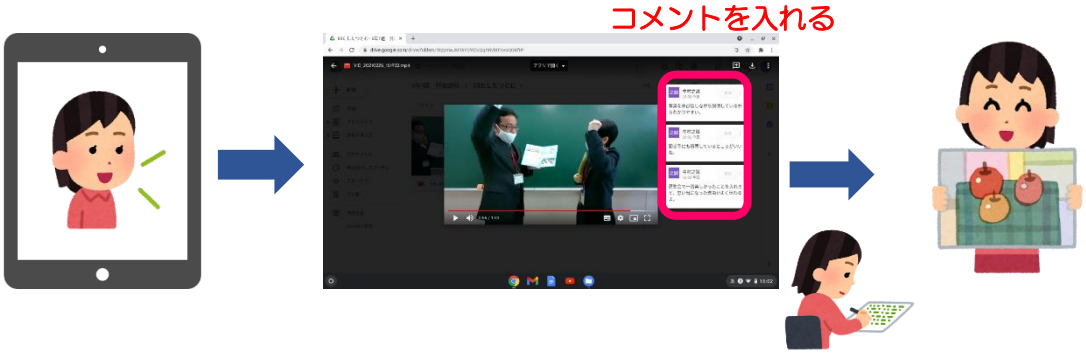
・クラウドサービスの共有機能を用いることで、児童の多様なコミュニケーションの在り方に瞬時に触れることができる。

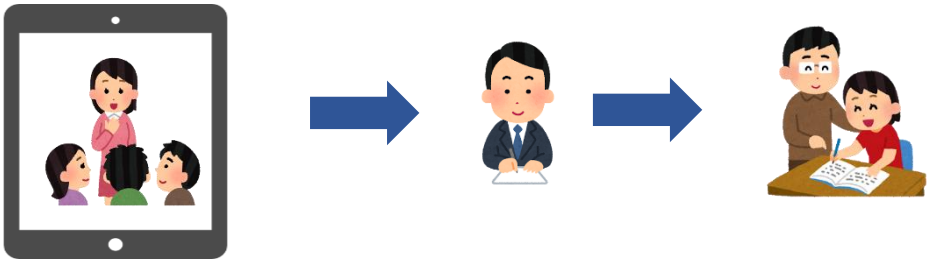




(2)【言語活動の充実】

・撮影、保存した動画を基に、コミュニケーションの内容や方法について、自己もしくは他者評価することを通して、自己のコミュニケーションの在り方を改善することができる。



(3)【評価の効率化と質の向上】

・動画を保存することで、パフォーマンステストとして随時見取ることができる。
・複数の動画を保存することができるため、児童の変容を見取ることができる。
・保存した動画を繰り返し視聴することで、次の指導に生かすことができる。